

## 第21回東京障害者技能競技大会

### ビルクリーニング競技 競技課題

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京支部  
東 京 都

#### 一般的な注意事項

#### < 共通 >

1 課題は、課題1「カーペット床清掃」と課題2「弾性床清掃及び机上清掃」の

2課題です。又、競技の進行は、課題1の「カーペット床清掃」、課題2の「弾性

床清掃及び机上清掃」の順番で行ないます。課題1と課題2の間には休憩

時間を設けます。

2 どちらの課題も、作業面積は、16 m<sup>2</sup> (4 × 4 m) とし、幅木による区画とし、幅木

の上には、壁があるものとして作業を行ってください。

3 作業場所にある机は、移動させないでください。

4 2課題とも次の規定時間が定められています。

① 課題1 7分 ② 課題2 10分

尚、両課題とも残り時間が少なくなったところでアナウンスします。

① 課題1 2分 ② 課題2 3分

又、規定時間を越えたところでアナウンスしますが、作業は最後まで行なってくだ

さい。但し、規定時間を越えた競技課題と競技時間の得点は加味されません。

※原則、競技は終了まで行なっていただきますが、競技大会の運用に支障があ

る場合はこの限りではありません。

- 5 各課題とも作業開始の指示は競技委員が行ないます。選手は、「はじめます」と申告して、2 (A・B) コート同時にスタートしてください。競技が終了したら「終わりました」と申告してください。又、作業ごとの入退出を行なう際には、会釈（軽く挨拶や礼）をしてください。競技中は上記以外の声は出さないでください。
- 6 課題において椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてください。
- 7 作業終了後、競技時間を発表します。競技時間の発表は、2コートの両名が終了した段階で各コート順次発表しますので、先に作業を終了した選手は、スタートラインに戻り、もう一方の選手が終了するまで、そのまま待機してください。
- 8 両競技で使用できる資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
- 9 使用した資機材は、競技委員の指示に従って後片付けを行なってください。
- 10 競技の採点は、作業準備・作業動作（手順）・仕様誤り・作業態度・作業時間の5面から審査し、加点方式により行います。
- 11 選手は、本競技に適した服装をしてください。

＜課題1 カーペット床清掃＞

- 1 床の材質は、繊維系の床面とします。
- 2 作業は、掃除機によるカーペット床の除塵作業です。
- 3 床のごみは、「シュレッターで裁断した紙」とし、50ml程度をまいたものとします。  
但し、床面全体にごみがあることを前提として作業を行ってください。

＜課題2 弾性床清掃及び机上清掃＞

- 1 床の材質は、塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
- 2 作業は、床面の除塵・拭き・ごみ処理及び机上拭き作業です。
- 3 本課題で使用する資機材・消耗品は、作業用カートに載せてありますので、  
作業前に点検し不足なものがある場合は競技委員に申告してください。
- 4 モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに選手自身で  
調節してください。
- 5 乾式モップ用のクロスは、選手が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。
- 6 クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部、モップの柄は作業カートの  
所定の位置にそれぞれ競技開始前にセットしてください。
- 7 床のごみは、「おがくず」とし、50ml程度をまいたものとします。  
但し、床面全体にごみがあることを前提として作業を行ってください。

【<sup>しきざいいちらん</sup>資機材一覧】

○<sup>きょうぎかいじょう</sup>競技会場に<sup>じゅんび</sup>準備されているもの

イ・<sup>かだい</sup>課題 1

ひんめい 品 名	すんぼうまた きかく 寸 法 又 は 規 格	すうりょう 数 量
しんくうそうじき 真 空 掃 除 機	ポット <sup>がた</sup> 型 リンレイ RD エコ 2 <sup>がた</sup> 型	だい 1 台

ロ・<sup>かだい</sup>課題 2

ひんめい 品 名	すんぼうまた きかく 寸 法 又 は 規 格	すうりょう 数 量
さぎょう 作 業 カート	ビルクリーニング <sup>ぎのうけんていしきざい</sup> 技能検定資機材に <sup>じゅんきよ</sup> 準 拠	だい 1 台
さぎょうひょうじばん 作 業 表 示 板	ビルクリーニング <sup>ぎのうけんていしきざい</sup> 技能検定資機材に <sup>じゅんきよ</sup> 準 拠	こ 1 個
ワンタッチモップ <sup>え</sup> 柄	ワンタッチアルミ <sup>しんしゆくえ</sup> 伸 縮 柄	ほん 1 本
モップ <sup>ふさ</sup> 房	260 g <sup>はくしよく</sup> 白 色	こ 1 個
こがた 小 型 ぼうき	30cm <sup>はばよう</sup> 幅 用	ほん 1 本
かんしき 乾 式 モップヘッド	63cm	こ 1 個
ぶんか 文 化 ち り と り	ビルクリーニング <sup>ぎのうけんていしきざい</sup> 技能検定資機材に <sup>じゅんきよ</sup> 準 拠	こ 1 個
タオル	むじ みずふ よう あおいろ 無 地 水 拭 き 用 ( 青 色 ) 1 枚 むじ からふ ようしろいろ 無 地 か ら 拭 き 用 ( 白 色 ) 1 枚	まい 2 枚
ダスタークロス	69cm <sup>はば ふしよくふ</sup> 幅 の 不 織 布	まい 1 枚
ビニール <sup>ぶくろ</sup> 袋	ごみ箱 <sup>ばこ</sup> 用 替 袋	まい 1 枚

せんしゅ じさん  
○選手が持参するもの

ひんめい 品名	すんぽうまた きかく 寸法又は規格	すうりょう 数量
さぎょう ぎ うえ した 作業着（上・下）		1 ちやく 着
さぎょうぼうまた さんかくきん 作業帽又は三角巾		1 こ 個
さぎょうぐつ 作業靴		1 そく 足

\*持参するものは上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することはさつか  
差し支えない。

かだい かーぺつ と ゆかせいそう さぎょうじかん 7ふん  
課題1 カーペット床清掃（作業時間：7分）

さぎょうしよう  
作業仕様

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
しきざい じゅんび 資機材の準備	<p>さぎょう ひつよう しきざい ・作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。</p> <p>・ホースには、ウォンドと吸込ぐち 込込口がセットしてある。</p>	<p>ひつよう しきざいおよ ・必要な資機材及びすうりょう しきざい 数量は、資機材いちらん さんしよう 一覧を参照すること。</p> <p>しきざい かぶそく な ・資機材が過不足無くじゅんび 準備されているかてんけん いじよう 点検し、異常があればもう 申し出る。</p>	<p>しきざい てんけん 資機材の点検しゅうりようご 終了後、かかりいん し じ 係員の指示にしたが ざぎよう 従い作業じゅんび はい 準備に入る。</p>
きようぎかいし 競技開始のあいさつ 挨拶	<p>しよてい いち た 所定の位置に立ち、「はじめます」と挨拶を行ない きようぎ かいし 競技を開始する。</p>	<p>かたて あ いちれい 片手を挙げ、一礼する。</p>	<p>さぎようかいし 作業開始をしんこく 申告する。</p>
さぎょうじゅんび 作業準備	<p>しんくうそうじき ぼかんぼしよ 真空掃除機を保管場所からさぎようばしよ ちか いどう 作業場所の近くへ移動し、コードをはず はず 外し、プラグをコンセントに差し込み、始動 てんけん おこな 点検を行う。</p>	<p>すいこくちぜんたい て ・吸込口全体に手をあて、ふうりよう あて、風量をてんけん 点検する。</p>	
にゅうしつ かいさつ 入室の挨拶	<p>いりぐち しつない む 入口にて、室内に向かってにゅうしつ かいさつ おこな 入室の挨拶を行う。</p>	<p>しつれい 「失礼します」といちれい にゅうしつ 一礼して入室する。</p>	

じょじんさぎょう 除塵作業 しんくうそうじき (真空掃除機)	① しんくうそうじき しよう 真空掃除機を使用して いりぐち じょじん にゆうしつ 入口を除塵し、入室する。 ② しつない さぎょうてじゆん どう 室内での作業手順（動 せん 線）は、カーペット床 さぎょうてじゆん どうせん 作業手順（動線）のと おり 行 う。 ③ ばこ いどう じょじん ごみ箱は移動させて除塵 する。 ④ ぜんしん じょじん 前進しながら除塵す る。 ⑤ さぎょう しゅうりよう 作業が終了したら そうじき しつない だし 掃除機を室内より出し てプラグを抜く	・ごみを踏まないよう てきせつ どうせん に適切な動線で ゆかめんぜんたい 床面全体を じょじん 除塵する。 すいこみぐち てきせつ ・吸込口を適切に ゆか 床にあて、ごみを かいしゅう 回収する。 いす てまえ ひきだし ・椅子を手前に引き出 つくえした じょじん し、机下の除塵 をおこな もと もど を行い、元に戻 す。 そうじきほんたい て ・掃除機本体は、手で も いどう 持って移動する。 も もど ・プラグを持って抜く	ごみは、シュレ ッターで裁断 さいだん したものを ていどきんとう 50ml程度均等 にまいてある。
てんけん 点検	ゆびさ また もくしてんけん おこな 指差し又は目視点検を行 う。	しきざい わす、 資機材の忘れ、ごみの と のこ 取り残しがないか てんけん 点検する。	
たいしつ あいさつ 退室の挨拶	でぐち しつない む 出口にて、室内に向かって たいしつ あいさつ おこな 退室の挨拶を行 う。	しつれい 「失礼しました」と いちれい たいしつ 一礼して退室する。	
しきざい かたづ 資機材の片付け	しんくうそうじき 真空掃除機のコードを てきせつ ま き、しんくうそうじき 適切に巻き、真空掃除機を ほかんばしょ もど 保管場所に戻す。		
しゅうりよう あいさつ 終了の挨拶	しよてい いち た しゅうりよう 所定の位置に立ち、終了 あいさつ おこな の挨拶を行 う。	お 「終わりました」等の い しひようじ おこな 意思表示を行 う。	さぎょうしゅうりよう 作業終了を しんこく 申告する。

※さぎょうひようばん  
作業表示板はあらかじめ適切な場所に立ててある。又、また さぎょうしゅうりようご た  
作業終了後も、立てたままの状  
たい せんしゅ て ふ ひつよう  
態で、選手は手を触れる必要はない。

かだい だんせいゆかせいそうおびきじょうせいそう さぎょうじかん 10ふん  
課題2 弾性床清掃及び机上清掃（作業時間:10分）

さぎょうしょう  
作業仕様1-1

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
しきざい じゅんび 資機材の準備	<p>さぎょう ひつよう しきざい ・作業に必要な資機材（タ オル・モップ）は、すで に作業カート（以下カー ト）上部に準備されてい る。</p> <p>①ワンタッチモップ柄 （以下柄）の長さを 調整し、カートの所定 の場所にセットする。</p> <p>②ダスタークロスを乾式モ ップヘッド（以下ヘッ ド）に装着し、カート 上部に置く。</p>	<p>ひつよう しきざいおよ ・必要な資機材及び 数量は、資機材 一覧を参照する こと。</p> <p>しきざい かぶそく な ・資機材が過不足無く 準備されているか 点検し、異常があ れば申し出る。</p>	<p>しきざい てんけん 資機材の点検 しゅうりょうご 終了後、 かかりいん しじ 係員の指示に したが さぎょう 従い作業 じゅんび はい 準備に入る。</p>
きょうぎかいし あいさつ 競技開始の挨拶	<p>しよてい いち た 所定の位置に立ち、「はじめ ます」と挨拶を行 い、 競技を開始する。</p>	<p>かたて あ いちれい 片手を挙げ、一礼す る。</p>	<p>さぎょうかいし 作業開始を しんこく 申告する。</p>
さぎょうじゅんび 作業準備	<p>さぎょうよう い か 作業用カート（以下カー ト）を保管場所から作業 場所の近くへ移動し、作業 表示板を立てる。</p>	<p>さぎょうひょうじばん いち 作業表示板の位置 は、作業の邪魔にな らない適切な箇所。</p>	
にゅうしつ あいさつ 入室の挨拶	<p>いりぐち しつない む 入口にて、室内に向かっ て入室の挨拶を行う。</p>	<p>しつれい 「失礼します」と いちれい にゅうしつ 一礼して入室す る。</p>	
いす あげ 椅子上げとごみ しより 処理 (1)椅子を上げる (2)ごみの回収 (3)ごみ袋のセ ット	<p>さぎょうまえ いす きじょう ①作業前に椅子を机上に あ 上げる。</p> <p>②ごみ箱にセットされてい るビニール袋を回収 する。</p> <p>③回収したビニール袋 をカートの袋の中に入 れる。</p> <p>④ビニール袋の替袋 を取り出し、ごみ箱にセ ットする。</p> <p>⑤ごみ箱を机上に上げ る。</p>	<p>つくえ うご ・机は動かさない。</p> <p>・ビニール袋を適切 にセットする。</p>	

<p>①ダスタークロスを装着した乾式モップヘッドは入口の養生マットの上で柄に取り付ける。</p> <p>②乾式モップで、外から入口を除塵し、入室する。</p> <p>③室内での作業手順（動線）は、乾式モップ作業手順（動線）のとおりコート全体をおこなう。</p> <p>④ごみは前進しながら出口に向かって1箇所に集める。</p> <p>⑤ヘッドを柄から外す。</p> <p>⑥使用済みのダスタークロスを手柄から外し、カートの袋の中に収納する。</p> <p>⑦柄とヘッドをカートに戻す。</p> <p>⑧小型ぼうきと文化ちりとりを使用し、集めたごみを回収する。</p> <p>⑨ごみの取り残しがないか点検する。</p> <p>⑩小型ぼうき、文化ちりとりをカートに戻す。</p>	<p>①柄の先端には親指を添える。</p> <p>②ヘッドの辺は広い方を先行させる。</p> <p>③入口のごみを踏まないように足場を確保する。</p> <p>④ヘッドは、床から離さない。</p> <p>⑤使用済みダスタークロスはカートの袋の中に入れる。</p> <p>⑥ごみの取り残しがある場合は、小型ぼうきと文化ちりとりを使用し回収する。</p> <p>⑦ヘッドは、カート上部に、スポンジ面を上にして、邪魔にならないように置く。</p>
---	--



さぎょうしょう  
作業仕様 1-2

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
みずふさぎょう 水拭き作業 (モップ)	<p>①コート全体面積を拭く。</p> <p>②室内での作業手順 (動線)は、水拭きモップ作業(動線)手順のとおりコート全体をおこなう。</p> <p>③コーナー周りとは机の脚周りは房糸に手を添えて拭く。</p> <p>④モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。</p> <p>⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。但し、机の下・横については縦拭きとする。</p>	<p>・拭き残し、拭きむらのないようにする。</p> <p>・柄の先端には親指を添える。</p> <p>・房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。</p> <p>・拭いたところを踏まないようにする。</p>	
ばこいすお ごみ箱と椅子下ろし	あんぜん おと た 安全に音を立てないように下ろす。	あし うえ お ・足の上に落とさないように注意する。	
きじょうぶ 机上拭き	<p>①青色のタオルを八折にして持つ。</p> <p>②机の上を青色のタオルで水拭きした後に、白色のタオルで、から拭きをおこなう。</p> <p>③机表面全体をてじゅんどお おこなう手順通り行う。</p>	<p>・タオルが汚れたら、きれいな面に替えて拭く。</p> <p>・机の縁を含めて、四隅から中央へと拭く。</p> <p>・横・縦拭きを行う。</p>	
てんけん 点検	ゆびさ また もくしてんけん 指差し又は目視点検をおこなう。	しきざい わす ・資機材の忘れ、ごみの取り残しなどの点検を行う。	
たいしつ あいさつ 退室の挨拶	でぐち しつない む 出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	しつれい 「失礼しました」といちれい たいしつ 一礼して退室する。	

しきざい かたづ 資機材の片付け	さぎょうひょうばん 作業表示板をカートに しゅうのう ほかん 収納し、カートを保管 ばしょ もど 場所に戻す。		
しゅうりょう あいさつ 終了の挨拶	しよてい いち た 所定の位置に立ち、 しゅうりょう あいさつ おこな 終了の挨拶を行う。	お どう 「終わりました」等の い しひょうじ おこな 意思表示を行う。	さぎょうしゅうりょう 作業終了を しんこく 申告する。